

# 「あついこころ」を道政に!

おおこしあつこは、コロナ対策の切り札として期待されるワクチン接種の円滑な実施に万全を尽くすとともに、事業継続や雇用確保など経済再生の取り組みを全力で進めます。



## 道政報告

令和3年 第1回定例道議会



### おおこしが一般質問で登壇! 重要課題に関する見解ただす

おおこしは3月11日、道議会本会議一般質問で新型コロナウイルス対策、在宅高齢者の体力の低下、女性活躍社会の推進などについて質問し、鈴木直道知事からは、実効性ある対策を進める旨の積極的な答弁が述べられました。

#### <その他の質問項目>

- 国土強靱化 ● 親子の面会交流への支援
- ほっかいどう応援団会議
- 道産農畜産物の輸出 ● 森林火災への対応
- 子供の体力・運動能力
- 学校における教育活動 ● 産業人材の育成

## コロナ対策に6431億円 道が新年度予算案を発表

道は、令和3年度予算案を発表し、一般会計は2年度当初比15.4%増の3兆2530億円で、過去3番目の規模となりました。事前の道幹部とのヒアリングにはおおこしも参加し、実効性ある対策を盛り込むよう強く求めました。



▲道予算のヒアリングに出席

#### <主なコロナ対策関連事業>

● ワクチン接種体制の整備	1億6500万円
● 保健所の人員確保、設備整備	12億6600万円
● 中小企業への貸付資金	4503億8300万円
● 時短で影響を受けた事業者への一時金支給	51億円
● 企業のテレワーク普及への支援	1億6900万円
● 学校内の消毒・換気サポート・スタッフの配置	10億7500万円
● ICTを活用した高齢者の健康づくり	5100万円

## 「食品ロス条例」制定に向け検討会議発足へ

食品ロス削減に向けた「どさんこ愛食食べきり運動」を、道民の皆さまへさらに普及させるための道条例の制定に向けた動きが加速しています。

食品ロス問題はおおこしが初当選以来、力を入れて取り組んできたもので、近く道議会内に検討会議が発足する予定です。早期実現できるよう頑張っていきます。



▲予算委員会で食品ロスについて質問



▲道のPRチラシ

## アイヌ工芸品の魅力PR

現代的なデザインを取り入れたアイヌ工芸品を生み出す「アイヌ・プロダクツ・プロジェクト」の展示会が2月13日、チ・カ・ホで行われました。この企画は「ウポポイ開設を契機にアイヌ文化支援を行うべきだ」と訴えたおおこしの質問を基に実現しました。

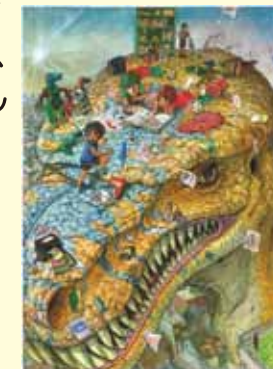


## 「第5回北のまんが大賞」受賞作が決定!

道は2月、まんが公募コンテスト「第5回北のまんが大賞」「第1回北の絵コンテ大賞」の受賞作を発表しました。今回創設されたイラスト部門には、「恐竜」をテーマにした221作品の応募があり、入賞作は「北海道の恐竜」展の会場に展示されました。元プロのまんが家だったおおこしは、コンテンツ産業の発展と新たな才能の発掘のため、この事業を後押ししていきます。



▲入賞作が展示された北海道博物館にて



▲知事賞を受賞した國安ユウキさんの「放課後」

## 子宮頸がん勉強会を開催

北海道医師会と女性道議との子宮頸がんの勉強会に出席しました。ワクチンの有用性や副反応、早期発見の重要性などについて学びました。3月13日には、道議会自民党全体での勉強会も開催しました。

